

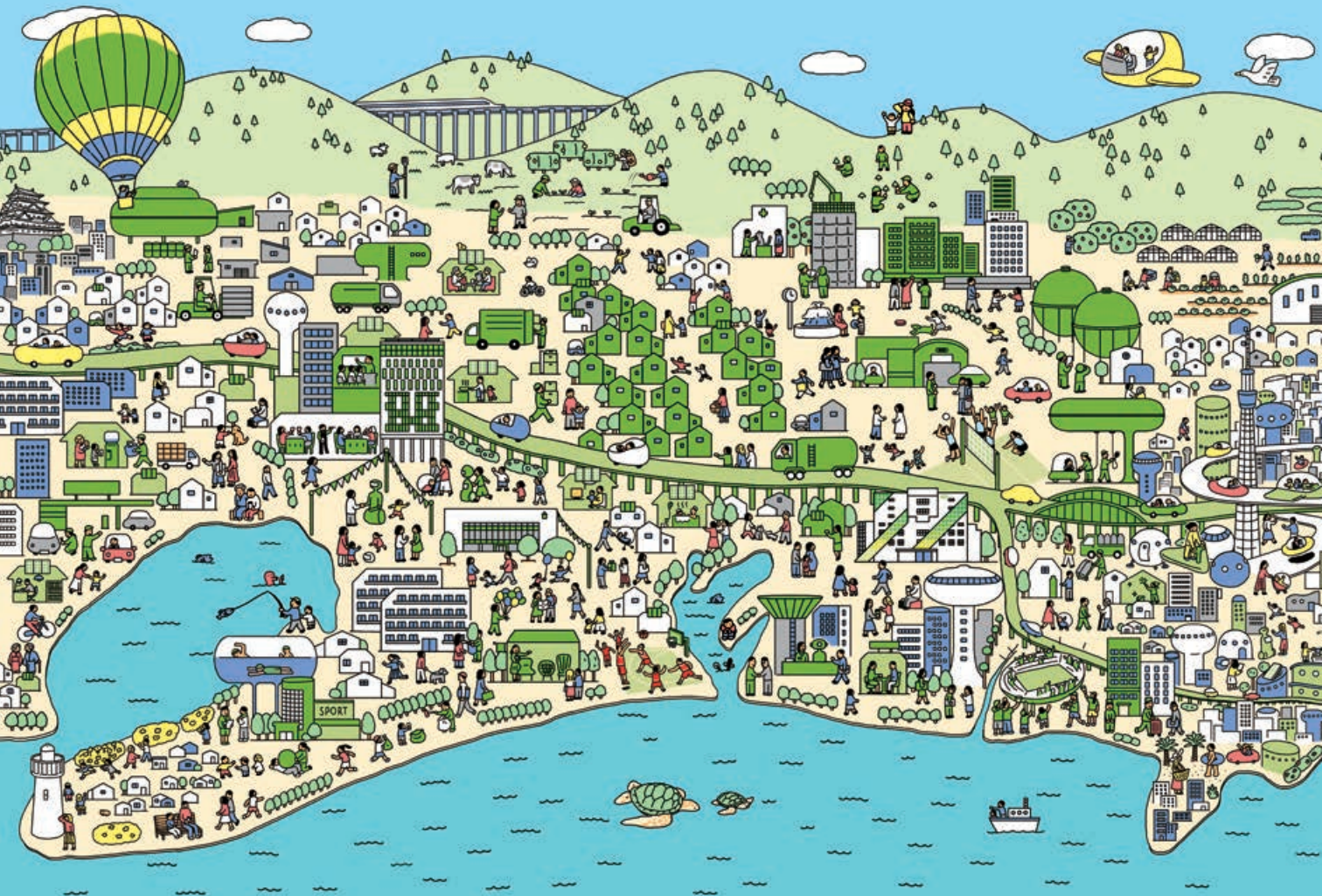
第22期
中

株主通信

生活にフイノオリティ

sala

2022年12月1日から2023年5月31日まで



証券コード: 2734

株式会社サーラコーポレーション

私のまちにSALA、暮らしとともにSALA

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素より当社グループにご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。当社グループの第22期中間期(2022年12月1日～2023年5月31日)の概況についてご報告申し上げます。



代表取締役社長 兼
グループ代表・CEO

神野吾郎

中間期業績ハイライト

当社グループの第22期中間期(2022年12月1日～2023年5月31日)の概況は、以下のとおりです。

当中間期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に関する規制緩和に伴い、社会経済活動の正常化が進んだ一方、長期化するウクライナ情勢不安による物価上昇や円安等の影響により、景気の先行きは依然として不透明な状態が続きました。

サーラグループにおきましては、2023年11月期を初年度とする第5次中期経営計画を策定し、「枠を越える」を基本方針に定め、一層の成長に向けた連携・共創の取組みに注力しています。また、グループ内外との積極的な連携・共創を通じて、地域やお客さまの課題を解決することにより、SALAのブランド価値を高めていくことを目指しています。当中間期におきましては、サーラカーズジャパン(株)は、2023年1月に静岡県浜松市のアウディ浜松店において、サーラエナジー(株)及びサーラeエナジー(株)との連携・共創の取組みにより、

CO₂排出量実質ゼロの電気及びガスを使用するカーボンニュートラル店舗の運用を開始しました。また、ソーラエナジー(株)は、新たな成長投資として静岡県内初となる系統用蓄電池を浜松市内の同社浜松供給センター敷地内に設置することを決定しました。

当中間期の経営成績につきましては、エネルギー&ソリューションズ事業が大幅な増収となったことから、売上高は前年同期比6.5%増の125,976百万円となりました。利益面はプロパティ事業を除く各セグメントが減益となったこと

から、営業利益は前年同期比19.6%減の5,022百万円となりました。また、経常利益は営業外収益として為替予約に係るデリバティブ評価益205百万円などを計上したため、前年同期比19.2%減の5,680百万円となりました。なお、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2023年4月1日付で実施した定年延長及び退職金制度改定を主とする人事制度改定に伴い、特別利益として退職給付制度改定益を計上したことから、前年同期比1.1%減の4,748百万円となりました。

売上高

125,976百万円

(前年同期比6.5%増)

過去最高

営業利益

5,022百万円

(前年同期比19.6%減)

経常利益

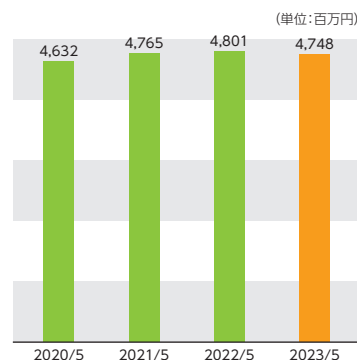
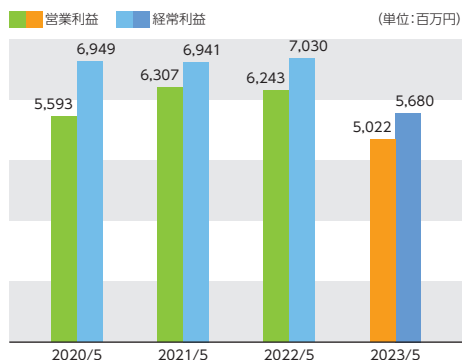
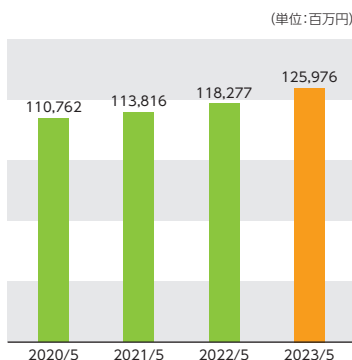
5,680百万円

(前年同期比19.2%減)

親会社株主に帰属する四半期純利益

4,748百万円

(前年同期比1.1%減)

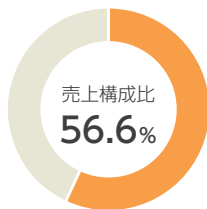


事業セグメント別の概況

エネルギー&ソリューションズ事業



都市ガス、LPガス、電気、石油製品、高圧ガス、物流サービス、リフォームなど



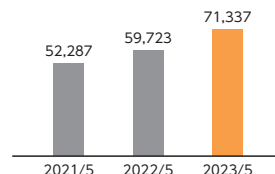
売上高 **71,337** 百万円
(前年同期比 **19.4%増**)

営業利益 **4,056** 百万円
(前年同期比 **10.2%減**)

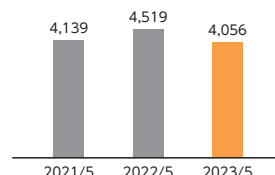
業績の概要

- 原料費調整制度に基づき都市ガス販売価格を上方調整したため、売上高は増加しました。
- エネルギー原料価格高騰の影響に加え、都市ガスは家庭用や工業用を中心にガス販売量が減少したため、営業利益は減少しました。

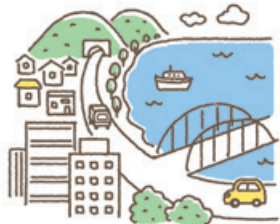
売上高推移 (百万円)



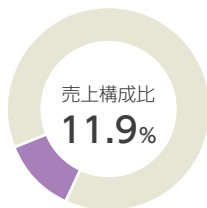
営業利益推移 (百万円)



エンジニアリング&メンテナンス事業



都市インフラ整備(道路、トンネル、建築、港湾土木など)、設備工事・メンテナンス、システム開発など



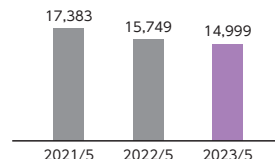
売上高 **14,999** 百万円
(前年同期比 **4.8%減**)

営業利益 **1,384** 百万円
(前年同期比 **1.8%減**)

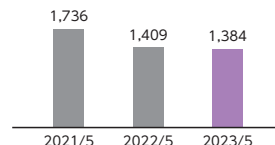
業績の概要

- 土木、建築及びメンテナンスの各部門において完成工事が減少したため、売上高は減少しました。
- 利益面は、各部門において工程管理を徹底し売上原価の低減に努めましたが、販売費及び一般管理費が増加したため、営業利益は減少しました。

売上高推移 (百万円)



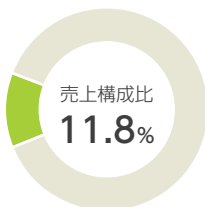
営業利益推移 (百万円)



ハウジング事業



注文住宅・分譲住宅、リフォーム、建築資材



売上高

14,868百万円
(前年同期比 19.7%減)

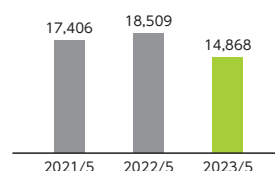
営業利益

△400百万円
(前年同期は営業利益
211百万円)

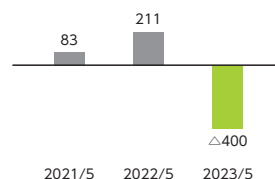
業績の概要

- 住宅販売部門は、前年同期と比較して注文住宅の前期からの繰り越し受注棟数が少なかったことに加え、分譲住宅の引渡し棟数が減少したことから、販売棟数は減少しました。
- 住宅部資材加工・販売部門は、既存取引先との関係強化に加え、新規取引先の開拓に努めたため、受注は堅調に推移しました。

売上高推移 (百万円)



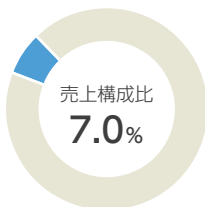
営業利益推移 (百万円)



カーライフサポート事業



輸入自動車(フォルクスワーゲン、アウディ)の販売、整備など



売上高

8,826百万円
(前年同期比 17.3%増)

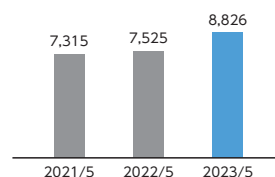
営業利益

△133百万円
(前年同期は営業利益
5百万円)

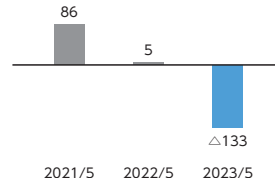
業績の概要

- フォルクスワーゲンは、中古車販売や高価格帯の新車販売に取り組みました。アウディは新車、中古車ともに販売台数が増加しました。
- 利益面は、販売促進費など販売費及び一般管理費が増加したことから、営業利益は減少しました。

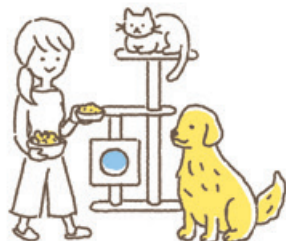
売上高推移 (百万円)



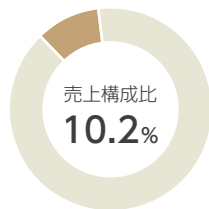
営業利益推移 (百万円)



■ アニマルヘルスケア事業



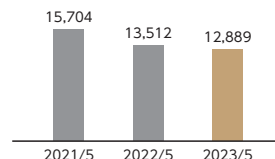
動物用医薬品、器具器材、
機械設備の販売



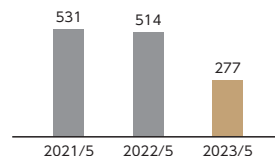
売上高 **12,889**百万円
(前年同期比 **4.6%減**)

営業利益 **277**百万円
(前年同期比 **46.0%減**)

売上高推移 (百万円)



営業利益推移 (百万円)



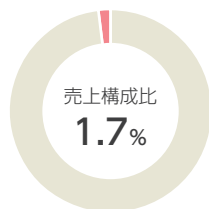
業績の
概要

- 畜産部門は、飼料価格高騰や鳥インフルエンザの発生等の影響により、動物用医薬品等の受注が減少しました。
- ペット関連部門は、前年同期実績は動物用医薬品等の値上げ前の駆け込み需要を含むため、その反動から受注が減少しました。

■ プロパティ事業



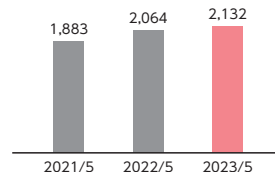
不動産賃貸・売買、ホテル、
飲食店、スポーツクラブ



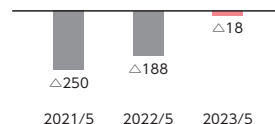
売上高 **2,132**百万円
(前年同期比 **3.3%増**)

営業利益 **△18**百万円
(前年同期は営業損失
188百万円)

売上高推移 (百万円)



営業利益推移 (百万円)



業績の
概要

- 不動産部門は、売買仲介や施設管理などを行う資産マネジメント分野を中心に事務所や店舗など法人向け取引が堅調に推移しました。
- ホスピタリティ部門は、新型コロナウイルス感染症に伴う規制が緩和されたことに伴い、宿泊や宴会、ブライダルなどの利用客数が増加しました。

通期連結業績の見通し

当社は、2023年7月7日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、同年1月12日に公表した通期連結業績予想を下記のとおり修正することを決定しております。

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回予想(A)	250,000	7,000	7,800	5,400	84.64
今回予想(B)	250,000	5,500	6,300	5,400	84.64
増減額(B - A)	—	△1,500	△1,500	—	—
(ご参考) 前期実績(2022年11月期)	234,848	6,891	8,601	5,682	89.12

(通期連結業績予想の修正の理由)

通期の連結業績予想は、売上高につきましては前回予想どおりとなる見込みです。利益面はエネルギー&ソリューションズ事業において、エネルギー原料価格高騰の影響が続くことが見込まれております。また、ハウジング事業においては、上期における住宅販売棟数が計画を下回ったことに加え、同期間における注文住宅の契約棟数が低調となるなど、期中に引渡し可能な受注残が計画を下回ったことから、前回予想を下回る見込みです。以上により、営業利益及び経常利益につきましては、上記のとおり前回予想を修正します。一方、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上期に特別利益として退職給付制度改定益2,388百万円を計上したことなどから、前回予想を据え置きます。なお、通期の連結業績予想には為替予約に係るデリバティブ評価損益の影響は織り込んでおりません。

配当について

期末配当金の予想に変更はありません。上記「通期連結業績見通し」のとおり業績が推移しますと、期末配当金は、配当の基本方針に基づき13円となります。この場合、中間配当金を加えた年間配当金は26円となり、前期と同額になる見込みです。

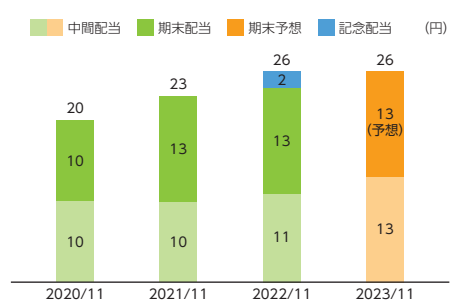
配当の基本方針

為替予約に係るデリバティブ評価損益の影響を除く連結配当性向30%を目的として配当を行います。

中間配当金

13円

(前年同期比+2円)



トピックス

省エネ・環境性能にすぐれたLCCM住宅／ZEH基準に標準対応 未来の基準を先取りした商品「SINKA(シンカ)」シリーズを販売開始

サーラ住宅(株)は、未来の省エネ基準を先取りした新商品「SINKA」シリーズの販売を2023年6月から開始しました。同シリーズは2つのグレードがあり、上位グレードである「SINKA-G」は、LCCM住宅に対応する断熱性能に加え、全館調湿換気システムを採用することにより、年中快適な湿度を保つ居住空間を実現しています。一方、「SINKA」は、ZEH基準に対応する断熱性能に加え、熱交換アレルバスター換気システムを採用することにより、花粉やカビ、ウイルスを抑制した快適な室内環境を提供します。

同社は今後、同シリーズのプロモーションを強化することにより、2050年のカーボンニュートラル実現に向けた取組みを推進します。

詳細はこちら「SINKA」WEBサイト

URL : <https://sala-house.co.jp/chuumon/products/sinka/>



サーラの「エコスマ診断」サービス開始

サーラエナジー(株)は、お客さまのカーボンニュートラルな暮らしをサポートする新たな取組みとして、「エコスマ診断」を2023年7月より開始しました。

本サービスは、お客さま宅の電気やガスなどの光熱費に加え、住まいや暮らし方などについて担当者が問診した結果を、独自開発した診断ツール「エコスマ診断」に入力することで、お客さま宅のCO₂排出量や水道光熱費を“見える化”するとともに、お客さまごとの最適なCO₂削減や水道光熱費削減対策を提案するサービスです。

同社は、本サービスの提供を通じて、引き続きお客さまの低炭素化、脱炭素化の取組みを積極的に支援します。

詳細はこちら「エコスマ診断」WEBサイト

URL : <https://www.salaenergy.co.jp/eco-sma/>

★「WEB版」はどなたでも無償でお試しいただけます。



サーラの「エコスマ診断」

本サービスは、
対面版
WEB版
があります。



「エコスマ診断」は、
SALAオリジナルの省エネ
診断システムです。

■ホームページのご案内



当社はホームページ内に投資家の方々を対象とした投資家向け情報のページを設けています。株主通信のバックナンバーや決算短信、配当金情報といった各種資料等がご覧いただけます。

▶ <https://www.sala.jp/ja/ir.html>

サーラコーポレーション

検索



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C013080



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。